

# キャラバン車に瓦積み、淡路瓦をPR

淡路瓦売出し隊



▲行政と瓦業界が連携、中田市長と福原理事長

淡路瓦の需要拡大と販路開拓を目指して7月24日、南あ

わじ市と淡路瓦工業組合(福原幸蔵理事長)が、「淡路瓦売出し隊」を結成。キャラバン車にPR用の瓦を積み込み西日本各地を回ります。

同隊が7月27日、第1弾で向かった先は徳島県美馬市「うだつの町並み」と香川県丸亀市。ともに伝統的建造物が保存されており、市の補助を受けながら現在も修復が行われています。同隊は、行政の文化財担当者や町並み保存会のメンバーらに会い、瓦の発注状況を調査、淡路瓦をPRして



▲販促先で淡路瓦をPRするメンバー

# 県吹奏楽コンクールで市内4校入賞

吹奏楽部が健闘

第56回兵庫県吹奏楽コンクールが8月上旬から県内各地で行われ、市内からは下記のとおり4校が優秀な成績を収めました。このコンクールは県内から小学校12校が出場、中学校・高校は地区予選で選ばれた学校からなる3部門で開催されました。

真野みどり教諭は「本吹奏楽部は、少年野球の開会式や敬老会のアトラクションなど吹奏楽を通して地域の方とのふれあいも大切にしている。これからも様々な活動を通してみんなで盛り上げていきたい」と話していました。



▲コンクールで演奏する広田小学校吹奏楽部

またこの日、人権に関する川柳や写真など、多数の作品を館内で展示。特に川柳部門では、数ある作品の中から選考の上、入賞した11作品が披露されました。



▲全ての人がしあわせに暮らせる社会を目指すために手をつなぐ「手のひら署名」

# 第2次行財政改革大綱策定の諮問

南あわじ市では、平成17年から行財政改革に取り組みしてきましたが、このたび「行財政改革審議会委員」の任期満了に伴い、新しく「第2次行財政改革審議会委員」の選出と、「第2次行財政改革大綱策定」についての諮問を7月28日、市役所中央庁舎で行いました。

「第2次南あわじ市行財政改革大綱」は、来年度から7年間を見据えた市の行財政改革の方向性を示すもので、今年度中に審議会から市長に答申が行われます。

兵庫県警察南あわじ署に8月10日、AED(自動体外式除細動器)が設置されました。このAEDは、「南あわじ警察友の会(森照雄会長)」から南あわじ署に寄贈されたもので、今後市民や警察官が使用できるAEDとして、多くの生命が救われるものと期待されています。

# 戦没学徒を追悼

若人の広場で献花式

終戦記念日の8月15日、戦没学徒記念若人の広場(阿万大見山)で市主催の戦没学徒追悼献花式を行いました。

15人が参列して慰霊塔の前で正午の時報とともに一分間の黙とうの後、一人ひとり献花台に白菊をささげ、戦没学徒の霊を慰めました。



▲慰霊塔前で黙とうする参列者

中田市長は「戦争の悲惨さや今日の平和のありがたさが、ややもすると風化していくなかにある」とあいさつし、戦死した尊い学徒の冥福を祈り恒久平和を祈念しました。

# 警察署にAED

ふれあい市長室



▲南あわじ署に寄贈されたAED

# 下水道出前講座の感想文掲示

市内の小学4年生を対象に、6月〜7月に行われた下水道出前講座の感想文が、8月1日〜16日にショッピングセンター・パルティに掲示されました。



▲感想文を読む買い物客



▲期間中、下水道加入促進課が下水道早期接続の啓発活動も行いました

# 人権サマーフェスティバル

人々が温かくふれあい、人権問題を考えてもらおうと8月23日、人権サマーフェスティバルを三原公民館で開催し、映画「おくりびと」「つみきのいえ」が上映され、多くの人が訪れました。

そのほか、場内では4か国の料理を味わえる多国籍ダイニングなども行われました。

またこの日、人権に関する川柳や写真など、多数の作品を館内で展示。特に川柳部門では、数ある作品の中から選考の上、入賞した11作品が披露されました。



▲全ての人がしあわせに暮らせる社会を目指すために手をつなぐ「手のひら署名」

# ふれあい市長室

人とのネットワークづくりの大切さ

早いもので、南あわじ市誕生から4年8か月が過ぎました。私は、常に「会う、聞く、見る」をモットーに現場主義を重視してまいりました。またま本年は、県市長会副会長や県河川協会会長、県漁港協会会長など、市長2期目に入り役職をいただく機会が増えました。近畿地区の理事なども重なり、各省庁や政府関係者とお会いし顔見知りも多く、南あわじ市の実情や要望をお話しすると色々と親身になってアドバイスや予算付などもいただけるようになりました。施策の実現において、ネットワーキングづくりの大切さを痛感しているところです。

旧四町からの継続事業、新規事業も一つ一つ着実に事業実施出来てきたのもネットワーキングづくりであったかと思えます。ケーブルテレビ整備、全小中学校耐震化100%、福良湾・阿万海岸・沼島港の津波、地震対策の施設整備、ほ場整備の推進、漁礁・漁場整備、また、永年の懸案であった三原川水系低地対策では、本年度より入貫・孫太・倭文川の排水機場整備の着手及び計画、いずれも県・国の事業採択、予算確保による整備実現であります。